

1945年±5年

戦争と復興：激動の時代に美術家は何を描いたのか

2016年7月30日(土)～10月10日(月・祝)

激動と復興の時代を生き抜いた作品たち

「1945年±5年」展は、1945（昭和20）年を境にして、その前後それぞれ5年間の日本の美術をとりあげる展覧会です。その前半は1937（昭和12）年から始まる日中戦争、1941（昭和16）年からのアジア・太平洋戦争の時代、後半は日本が敗戦を迎え、連合国によって占領統治された時代にあたります。日本近代史上、最も激動の時代といえるでしょう。その過酷な時代に美術家はどのような表現を行い、社会とどのような関係を築いたのでしょうか。

戦争が軍事力だけではなく、国のあらゆる力を総動員して行われる総力戦となったこの時代、美術の活動は厳しく統制され、戦争遂行に協力することが求められました。画家たちは戦争画や、銃後の人々を顕彰する絵などを制作したのです。しかしながら、戦争画の中にはそれだけに終わらない要素もあり、また個々の美術家の営みは戦争協力に限られるわけでもありません。時代の巨大な渦に巻き込まれながらも、美術家たちは多様な動きを見せました。本展覧会は、こうした動きを油彩画を主とする200点近い作品によって紹介するものです。

主な出品作家

巖光、石井柏亭、大野倣嵩、岡本太郎、香月泰男、桂ゆき、金山平三、北川民次、北脇昇、小磯良平、小早川秋聲、駒井哲郎、清水登之、新海覚雄、杉全直、須田国太郎、田村孝之介、鶴岡政男、寺田政明、名井萬亀、中西利雄、中村研一、花岡萬舟、浜田知明、東山魁夷、福沢一郎、藤田嗣治、古沢岩美、前田藤四郎、松本竣介、丸木位里・俊、水木しげる、向井潤吉、森堯之、山下菊二、吉田博、吉原治良ほか（全71作家）

展覧会構成（11章）

- I. モダンと豊かさの終焉（1940-42）／
- II. 植民地、「満州国」、占領地（1940-1945）／III. 軍隊と戦争（1940-44）／
- IV. 南方（1942-44）／V. 大きな物語とミクロコスモス（1940-44）／
- VI. 戦地から内地へ（1943-45）／VII. 銃後と総力戦（1942-45）／
- VIII. 自然と廃墟（1945-48）／IX. 労働、世相、女性（1946-49）／
- X. 前衛の復興（1945-49）／XI. 戦争回顧（1947-50）

開催概要

- 【会期】 2016年7月30日(土)～10月10日(月・祝)
- 【開館時間】 午前10時～午後5時 ※入場は閉館30分前まで
- 【休館日】 月曜日（ただし9月19日、10月10日は開館）、9月20日（火）
- 【観覧料】 一般1,030（820）円、大学生720（620）円、高校生・65歳以上510（410）円
※（ ）内は前売りおよび30人以上の団体料金 ※中学生以下無料
- 【主催】 広島市現代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 【後援】 広島県、広島市教育委員会、広島エフエム放送、尾道エフエム放送
- 【協賛】 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜



松本竣介《議事堂のある風景》1942年
岩手県立美術館蔵



中西利雄《散策》1940年〔前期展示〕
茨城県近代美術館蔵



森堯之《ロシア協会》1941年頃
徳島県立近代美術館蔵



小早川秋聲《国之盾》
1944年（一部1968年改作）
京都霊山護国神社蔵（日南町美術館寄託）

見どころ

●約 70 作家、約 200 点というボリューム

200 点もの出品作品数を誇る本展。岡本太郎、小磯良平、東山魁夷、藤田嗣治、松本竣介、水木しげるなど、日本美術や戦後文化の歴史に名を残す美術家たちの作品が一堂に会します。

●絵画の多彩な魅力を堪能できる

この時代の雰囲気から暗く重々しい作品ばかりを想像される方も多いかもかもしれません。しかし本展出品作品の作風やモチーフは多岐にわたります。人物画では兵士から女性・子どもまで、風景画では廃墟から美しい自然まで、各美術家独自の表現を見ることができます。

●日本近代史激動の 11 年間に美術作品により概観

開戦から敗戦そして占領統治と、時代の大きな転換期であった 11 年。本展はこの 11 年を 11 の章によって概観します。日本近代史上、最も激動の時代を美術作品によってたどる、美術史・日本史両方の観点で興味深い展覧会です。

●変化する戦争画

戦争画で多いのは、兵士に付き従い背後から兵士を描いた作品です。しかし 1941 年のアジア・太平洋戦争以降では、兵士が観客側に顔を向け観客が感情移入しやすいものが増えています。時代ごとに違いが見られる戦争画の役割や描いた美術家の心情などを思いながら見比べてみてください。

展覧会企画者による熱いギャラリートークから特別講演会など 本展をもっと知るための関連イベント

オープニング・ギャラリー・トーク

2016 年 7 月 30 日 (土) 14:00 ~ 15:30

講師/出原 均 氏 (兵庫県立美術館学芸員、本展企画者)

※要展覧会チケット (半券可)、事前申込不要

特別講演会「敗戦と美術—変わったことと変わらないこと」

2016 年 9 月 17 日 (土) 14:00 ~ 15:30

講師/木下 直之 氏 (東京大学教授、文化資源学)

会場/地下 1 階ミュージアムスタジオ

※要展覧会チケット (半券可)、事前申込不要

学芸員によるギャラリートーク

2016 年 8 月 27 日 (土) 14:00 ~ 15:00

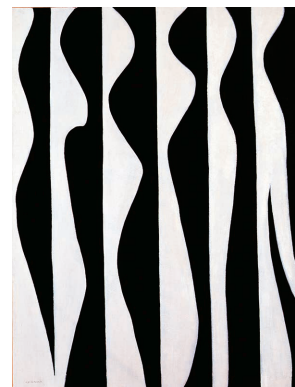
※要展覧会チケット、事前申込不要



久保守《戦後の風景》1947 年
東京都現代美術館蔵



鶴岡政男《重い手》1949 年
東京都現代美術館蔵



吉原治良《群像》1946 年頃
兵庫県立美術館蔵

【同時開催】

●コレクション展 2016-II

コレクション・ハイライト+特集「ヒロシマの現代美術」

2016 年 6 月 18 日 (土) ~ 9 月 25 日 (日)

●コレクション展 2016-III

コレクション・ハイライト+特集「みみをすます」

2016 年 10 月 8 日 (土) ~ 2017 年 1 月 22 日 (日)

【同時開催】

●夏のワークショップ・プロジェクト 2016「あちらの世界? こちらの世界??」

2016 年 7 月 16 日 (土) ~ 9 月 11 日 (日)

【次回開催】

●特別展「世界が妙だ! 立石大河亞+横山裕一の漫画と絵画」

2016 年 10 月 28 日 (金) ~ 2017 年 1 月 22 日 (日)